

議会だより

# 笑顔のために

No.436

令和6年12月1日発行

表紙：富士特別支援学校富士宮分校作成

表紙説明は裏表紙をご覧ください

## 目次 CONTENTS

- 01 **表紙**  
富士特別支援学校富士宮分校の生徒さん作成
- 02 **目次**
- 03 **議会だより広報活動**  
星陵高校生徒さんと意見交換会を開催
- 04 **9月定例会の議決結果**  
33件の議案について審議
- 05 **決算特集**  
市の令和5年度決算内容（事業内容）をチェック
- 07 **決算審査特別委員会 ～注目のQ&A～**  
市民の皆様を知っていただきたい質疑応答！
- 10 **議会運営委員会／常任委員会**  
常任委員会は先進的取組を行っている自治体を視察
- 14 **一般質問**  
17人の議員が市政を問う
- 23 **近江八幡市議会との親善事業など**
- 24 **表紙の説明／編集後記など**

### あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



### 議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像（ライブ・録画）を配信しています。



### 議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版（PDF版）を見ることができます。



### LINE 友だち追加

市公式LINEにて、議会に関する情報を発信しています。





▲最初は緊張した雰囲気



▲4～5人の小グループを作り、全員から意見を伺います

## 星陵高校生徒 × 議会だより編集委員会

「議会だより」についてご意見、伺いました！



▲議会だよりの率直な感想を伺います

議会だより編集委員会は、9月発行号議会だよりの表紙を作成していただいた星陵高校を訪問し、議会だよりについて高校生の率直な感想を伺いました。高校生からは、

- ・議員と話せる機会を作る
- ・一般質問は議員ごとではなく、トピックスごとにする
- ・市民の声を掲載する

など、たくさんのご意見をいただきました。

これからも、高校生をはじめ、市民の皆様のご意見をもとに協議し、親しみやすく、わかりやすい議会だよりを作成していきます。



▲少しずつなごやかに



▲高校生の話を引き出します



▲意見の共有



▲生徒さんの真剣な目が印象的です



▲意見の共有を行います



▲楽しく意見を交わします



▲最後に、全員で記念撮影！

高校生の皆さんに親しみを持っていただくため、議員はお揃いのTシャツで参加しました

# 9月定例会の議決結果

議案番号	件名	議決結果
陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択
議選第3号	岳南排水路管理組合議会議員の選挙について	決定
議決第3号	地震財特法の延長に関する意見書の提出について	原案可決 全会一致
報第19号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第20号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第21号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第22号	富士宮市土地開発公社の令和5年度事業決算の報告について	//
報第23号	公益財団法人富士宮市振興公社の令和5年度事業決算の報告について	//
報第24号	令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	//
報第25号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
報第26号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	//
認第1号	令和5年度富士宮市歳入歳出決算認定について	認定多数 賛成多数 全会一致
認第2号	令和5年度富士宮市水道事業決算認定について	//
認第3号	令和5年度富士宮市下水道事業決算認定について	//
認第4号	令和5年度富士宮市病院事業決算認定について	//
議第56号	令和5年度富士宮市水道事業剰余金の処分について	原案可決 全会一致
議第57号	令和5年度富士宮市下水道事業剰余金の処分について	//
議第58号	富士宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 賛成多数
議第59号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	//
議第60号	清掃センター焼却施設保全工事請負契約の締結について	原案可決 全会一致
議第61号	富士宮市民文化会館リニューアル工事（機械設備工事）請負契約の締結について	//
議第62号	富士宮市立芝川中学校普通教室棟建設工事（建築工事）請負契約の変更について	//
議第63号	富士宮市宮万野住宅建設工事E棟工区（建築工事）請負契約の変更について	//
議第64号	市道路線の廃止について	//
議第65号	市道路線の認定について	//
議第66号	令和6年度富士宮市一般会計補正予算（第4号）	//
議第67号	令和6年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議第68号	令和6年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議第69号	令和6年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	//
議第70号	令和6年度富士宮市病院事業会計補正予算（第1号）	//
議第71号	（仮称）富士宮市富士根交流センター建設工事（建築工事）請負契約の締結について	//
議第72号	令和6年度富士宮市一般会計補正予算（第5号）	//
諮第4号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意

※陳情＝陳情、議選＝議会で挙る選挙や人事案件、議決＝議会からの議案、報＝市からの報告、認＝決算の認定、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者の略。

※議案番号は、令和6年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

## 【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

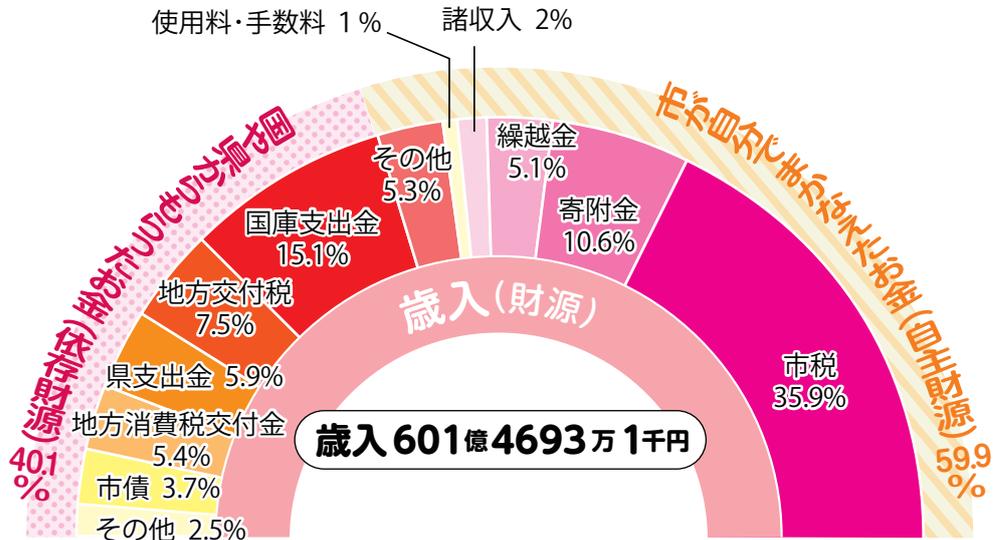
議案・結果	議員名 (議席番号順)																						
	近藤千鶴	岩村恵美	仲尾恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	臼井由紀子	佐野和彦	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	
陳情第2号 「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	※	×	
認第1号 令和5年度富士宮市歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※	○
議第58号 富士宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	欠席	○	○	○	○	○	欠席	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※	○
議第59号 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	欠席	○	○	○	○	○	欠席	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※	○

※議長は表決に加わりません

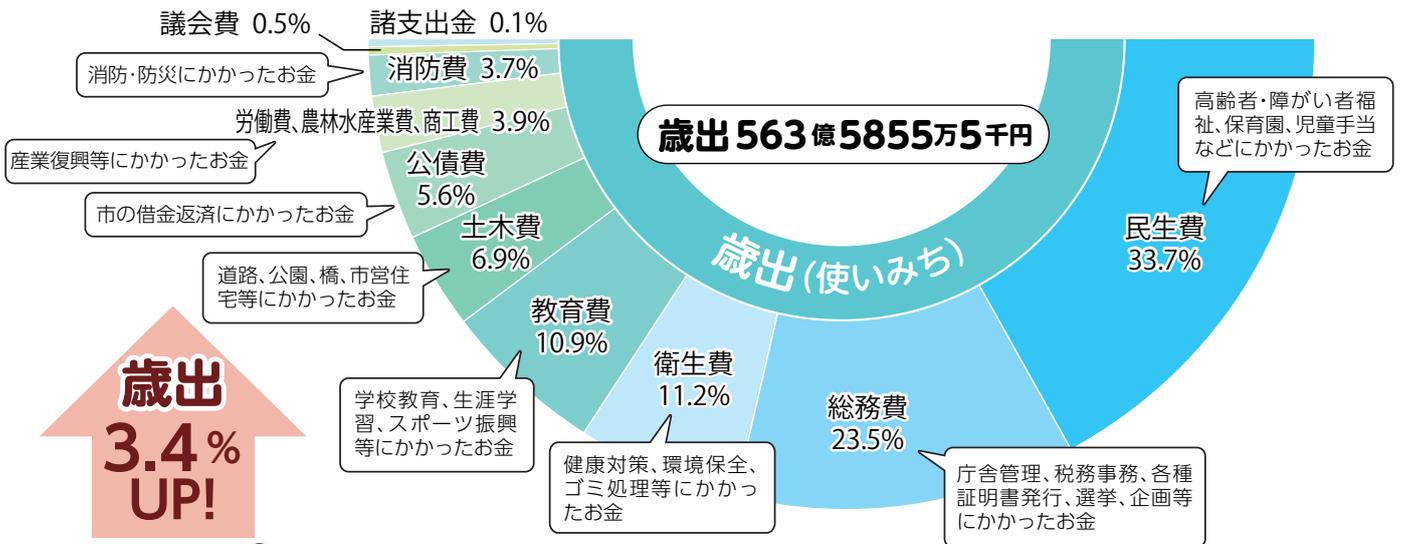
# 令和5年度 一般会計決算

令和5年度富士宮市歳入歳出決算認定について（以下、令和5年度富士宮市一般会計決算）にフォーカスし市民の皆様にお伝えします。

**歳入**  
4.5% UP!  
25億6774万6千円(増)



## 一般会計



**歳出**  
3.4% UP!  
18億6333万円(増)

1人当たり  
441,826円  
使いました

<b>総務費</b> 103,829円 	<b>民生費</b> 148,895円 	<b>教育費</b> 48,159円 	<b>土木費</b> 30,486円 
<b>労働費・農林水産業費・商工費</b> 17,231円 	<b>衛生費</b> 49,484円 	<b>公債費</b> 24,742円 	<b>消防費</b> 16,348円 
			<b>議会費</b> 2,209円 

令和5年度  
一般会計決算  
市民1人当たり  
いくら使った?  
※令和6年4月1日人口  
127,558人から算出

## 決算審査特別委員会

### 財政状況は良好！

急速な少子高齢化の進展や公共施設の老朽化対策という大きな課題を抱える中であっても、将来負担に配慮した財政規律を維持し、健全な財政状況を堅持していると判断しました。

市の貯金である**財政調整基金**は前年度から13億円増の72億9400万円、**市債残高**は8億2700万円減りました。

財政の弾力性を示す**経常収支比率**は**90.3%**、借金返済額の財政規模に対する割合の**実質公債費率**は**3.4%**、指数が高いほど財源に余裕があるといえる**財政力指数**は**0.833**となり、**将来負担比率**は生じていません。

**討 論** 令和5年度富士宮市一般会計決算（認第1号）について、賛成（決算認定）と反対（決算不認定）の議員、各々の考え方を本会議で行われた討論内容を要約し、以下のとおり実際の討論順に掲載します。

### 反対討論



渡辺佳正 議員

（仮称）富士宮市立郷土史博物館の関連経費を計上しない予算だったため、基本計画策定に向けて空白の1年となり、議会の議論は封じられ、市民の理解は進みませんでした。

同事業の見直しを要望する市民の声を無視するかのよう、議会の発言を敵視する市長の政治姿勢は問題です。

また、教育委員会の職員を「私の部下」と呼び、同委員会内部検討事項を外に向けて公言することは、市長の裁量権を超えた越権行為だと考えます。

### 賛成討論



芦澤秀典 議員

会派「富岳会」、「公明会」、「明和」を代表しての賛成討論です。世界経済が停滞する中、これまでも着実に伸びを示してきたふじのみや寄附金事業が大きな増収となり、素晴らしい結果になったことを高く評価します。

また、教育関係では、大規模な学校工事が計画通り行われました。これからも児童生徒が安全安心に学校に通い、充実した学校生活を送れることを願っております。

今後も市政運営の健全化を維持していただくことを期待します。

### 賛成討論



稲葉晃司 議員

賛成の理由の一つ目に、反対理由にも挙げられた「（仮称）富士宮市立郷土史博物館事業」が決算書になかったこと。二つ目に須藤市長が地方教育行政の組織及び運営に関する法律に触れているとの指摘ですが、私はギリギリ許される範囲だと考えること。三つ目に市長と議会の関係について、議会を敵視するかのような発言を挙げられていましたが、生活保護費の職員の不適切な取扱いに関して議会に詫びを入れた点を評価して反対理由に反対して、賛成討論とします。

→本会議で採決した結果、賛成19、反対2（議長は採決に加わりません）となり、令和5年度富士宮市一般会計決算（認第1号）を認定しました。

ご遺族手続き支援コーナー

公明会

齋藤和文



▲ご遺族手続きコーナー

問

令和5年度、461人が手続き支援制度を利用した。今後の利用率向上に向けての取組は。

また、市民から予約が取りづらいと苦情もきている。1日、何組まで受けているのか、周知はどのようにしているのか。

答

受付は1日2組。火、水、木は1日3組。需要が多いが、ブースが狭く、1件、1件の相談時間が長い。他の担当課と連携しながら行っている。

今後、冊子を作成することで、ご本人が直接、担当課を回れるようにしていく。

生活に困窮する市民への支援は

明 和

中野健太郎

問

生活困窮者支援事業のうち、住居確保給付扶助費が約460万円減少している。理由は。コロナ禍が過ぎた中での景気回復で家賃の支払いが困難な方が減ったのではないかと考えるが、それでも支援が必要な方への周知を図っていく。

問

就労準備支援事業では対象者35人のうち14人が一般就労を果たしたとある。実際に困窮する市民が本当にこの数字なのか。アウトリーチをどこまでしているのか。

答

ハローワーク、インターネットカフェ、ATMでのチラシの配布などを検討している。本人の同意がなければ支援が難しいが、相談件数は決して少なくないので、同意を得た支援を進めていく。

問

母子家庭等自立支援事業の給付金支給は合計6人と少ない。アプローチ方法は。

答

毎年度、児童扶養手当の現況の提出、面接の際にスキルアップ講座を案内し、積極的にPRしている。

問

生活保護事業費は増えている。生活保護になる手前の方にどうアプローチするのか。ひとり親世帯も同じだ。保健福祉部全体で取り組まなければならないと思うが。

答

生活の困りごとを抱えている方々がきちんと担当課につながるネットワーク構築を続けてきた。重層的支援体制整備事業でも、生活保護一歩手前の方々に必要な支援が届くよう努める。



問…議員（委員）、答…市当局

## コロナ禍後、若い力で国際交流を!!

富岳会

佐野和彦



▲台南市の街並み



▲台南市ランタンフェスティバル

取り扱っていききたい。

交流協会とも連携をとり、発表する機会を設けている。今後引き続き広報などでも取り扱っていききたい。

ホームページに掲載している。また、国際交流協会とも連携をとり、発表する機会を設けている。今後引き続き広報などでも取り扱っていききたい。

告会を開催したりしていただけない。

告会を開催したりしていただけない。

告会を開催したりしていただけない。

告会を開催したりしていただけない。

答

問

本年16年ぶりに台南市からランタンフェスティバルへの招待を受け、市長・市職員ら六名が開幕式やレセプションへ参加したとあるが、その内容について市民へ報告する機会を設けてあるのか伺う。

(市長) 台南市とはコロナ禍で疎遠になっており、今回台南市からの招待を受けてランタン祭りや式典に参加した。市長の職は忙しいので、いちいち報告書を書いたり報告会を開催したりしていただけない。

(部長) 台南市のほか、サンタモニカ市、栄州市、その他中学生がニュージーランド、高校生がベトナムなど海外派遣事業をしている。訪問や派遣の成果は報告書を作成し、ホームページに掲載している。また、国際交流協会とも連携をとり、発表する機会を設けている。今後引き続き広報などでも取り扱っていききたい。

## ふじのみや寄附金について

至誠

鈴木 弘

問

ふじのみや寄附金の受納額は、63億3851万5200円であるが、要した経費と他市へ支払われた税金を差し引いた金額が実質収入額になると思うが、それらの金額を伺う。

答

富士宮市の市民が他の自治体に寄附して減収した税額は2億2600万円。

答

経費が29億1414万2726円であり、減収した税額と合わせて差し引くと31億9837万2474円が、真水、実質収入額となる。

問

(仮称) 富士根交流センター整備事業について、再設計委託料ということだが、再設計の具体的な内容を伺う。

答

建築物省エネルギー法の改正があり、これに対応するためと、ZEB・Readyに対応するための再設計である。

問

具体的にどのような点が設計変更されたか。複層ガラスをLOWE複層ガラスへ、屋根断熱を質の高い物へ、天井へグラスウールを入れる、エアコンを個別式にして省エネを図るなど。

問

当初からそういう設計が出来なかったのか、またZEB・Readyではなく、ZEB化を目指せなかったのか伺う。

答

設計は令和2年に終わっていて、それ以後ZEBの指針ができたのでこのような対応になった。またZEB化となるとエネルギー収支ゼロにするため、風向きなどを考慮して配置なども計画しなければならぬが、既に土地の形状や配置等決まっていたので、そこまでできなかった。

白糸の滝バリアフリー事業について

超党派虹の会

渡辺佳正



▲白糸の滝

**問** 白糸ノ滝バリアフリー事業について市はどの  
 まで目指すのか。

**答** 滝つぼに降りる階段を利用するのは、お年寄りや障がい者の方にとって大変であることから、3つの案を考えている。1つはエスカレーター、2つ目はスロープ、3つ目はスロープの整備。3つ目は既設の階段をスロープに付け替える。これらの3つの案をもって環境省、文化庁に了解をいただけるよう要望していく。

供用開始から40年経過…

刷新！富士宮駅前広場

無会派

仲亀恭平

**問**

南口ふれあい広場について、  
 ・傷んだ舗装の整備  
 ・駅前イオンモールを結ぶ歩道の整備  
**整備スケジュールについて。**  
 令和8年度完成予定。  
**土地購入費274万円の用途は。**  
 錦町1号線の道路拡幅と歩道の整備のための用地取得費。



▲北口完成イメージ



▲南口完成イメージ

詳しい富士宮駅前広場等施設整備  
 はこちらをご覧ください→



**問**

利用者の利便性が向上する整備事業だと期待している。現在実施中の富士宮駅前広場等施設整備事業内容を伺う。

**答** 北口ペDESTリアンデッキについて、  
 ・ペDESTリアンデッキ耐震補強  
 ・タクシー乗り場へのエレベーターの設置  
 ・2階部分に新しいトイレを設置  
 ・1階部分に多目的トイレを設置  
 ・待合所整備  
 ・バス乗り場周辺の照明整備  
 ・サイン整備（わかりやすい案内サインやデジタルサイネージ）など

## 委員会とは？



富士宮市議会には担当する内容により、総務文教委員会、環境厚生委員会、産業都市委員会の3つの常任委員会が組織されています。また、議会の総括的な運営に関すること等を協議するために議会運営委員会が組織されています。

このほか協議又は調整を行う場として、議会だよりの編集発行を行うために議会だより編集委員会も組織されています。

なお、委員会はすべて富士宮市議会議員で構成されており、議員は年4回の定例会と年1回の臨時会に加え、これら委員会でも常に活動しています。

- ・ 2月定例会… 2月上旬頃開会～3月中旬頃閉会
- ・ 5月臨時会… 5月中旬頃
- ・ 6月定例会… 6月中旬頃開会～7月上旬頃閉会
- ・ 9月定例会… 9月上旬頃開会～10月中旬頃閉会
- ・ 11月定例会… 11月中旬頃開会～12月上旬頃閉会

※上の各期間は例年の目安であり、年により開催期間は変わります

※臨時会は必要に応じて随時開催することができます

## 議会運営委員会

### 辻村岳瑠委員長コメント

議会運営委員会で行われた議論については、

- ・ 地震財特法の延長に関する意見書の提出について

委員全員が賛成しました。地震財特法は、被災地の復興や災害対策に役立つ重要な法律です。我々の意見書が政府に届き、より効果的な対策が取られることを期待しています。

地震リスクの高い我が国において、災害対策の強化は喫緊の課題です。全力で支援し、地域の安全と復興に貢献していきたいと考えております。

また、議会運営委員会の構成が変わりましたので、写真とともにご紹介します。



▲前列左から、辻村岳瑠（委員長）、佐野寿夫（副委員長）  
後列左から、芦澤秀典、臼井由紀子、小松快造、植松健一、鈴木弘、渡辺佳正

## 総務文教委員会

## 鈴木弘委員長コメント

当委員会の所管事務調査においては、小中学校のトイレ大規模改修について、富士根南中学校と富士宮第一中学校を視察し調査を行いました。

教育委員会では、平成21年度から令和5年度までに大規模改修工事を22棟実施しています。内容は、配管の交換、ブースの更新、床面乾式化、暖房便座、温水シャワー付き洋式トイレへの交換等です。

総額約6億9千万円を要しており、両校はそれぞれ5千万円弱の工事費となっています。

改修されたトイレは道の駅のように、とてもきれいでした。残り44棟ありますが、1年に2棟ずつ改修を行う予定です。残りの改修が終わるまで後22年かかることとなりますが、その間、修繕により洋式化等は進めて行く予定とのことでした。



▲根南中学校のトイレ



▲一中体育館のトイレ

## 先進地視察

8/5～6 浜松市：浜松市の不登校対策施策について  
神戸市：神戸市の不登校対策施策について

当委員会では昨年度と本年度において、「小中学校における不登校の実態と対応について」を政策課題として取り組んでいます。今年度は不登校対策に先進的に取り組んでいる浜松市と神戸市へ視察に行ってきました。

どちらの市でも、校内まなびの教室と校外まなびの教室の充実を図っていました。人員不足がそうした教室の設置において課題となりますが、両市では民間への委託、また教員免許のない人でも任用して体制作りに取り組んでいるという点がとても参考になりました。



▲浜松市視察



▲神戸市視察

## 環境厚生委員会

## 植松健一委員長コメント

今回の当委員会での所管事務調査として、富士宮市立病院から事業報告を受けました。

9月1日時点での医師の確保状況と医療体制、また医師確保のため行っている施策等について説明を受けました。

現在、麻酔科医が1名となっている状況に委員から早急に増員できるよう努力をしてほしいと意見が出されました。

また、政策課題である「プラスチックをはじめとするごみのリサイクルについて」では、政策提言を2月定例会で行うこととし、それに向けて今後研究成果をまとめていくということを決めました。



▲プラスチックごみ

## 先進地視察

### 8/6～7 南三陸町：バイオガス事業について 町田市：生ごみのリサイクルについて

当委員会では、8月6日及び7日にわたり宮城県南三陸町ではバイオガス事業について、さらに東京都町田市では生ごみのリサイクルについて視察をしてまいりました。

どちらも生ごみからバイオガスを取り出し、そのガスを使用して発電するというものでありましたが、人口規模による処理量の違いからくる生ごみの収集方法やガス化施設の規模やシステム、さらに環境の違いからくる残渣処理についての考え方の違いなど多くの発見がありました。



▲南三陸町視察



▲町田市視察

## 産業都市委員会

## 村瀬旬委員長コメント

当委員会では所管事務調査として、富士市消防防災庁舎にあります「富士市・富士宮市消防指令センター」の現地視察を実施しました。

現在救急通報が入ると、富士市、富士宮市に関わらず富士市・富士宮市消防指令センターに入電され、そこから救急車両の配車を行います。今回は、現在使用している指令システムが耐用年数を超えることによる機器更新が必要となるため、現地の視察を行いました。

また、政策課題である「盛土の現状と対応について」は、政策提言の内容等について協議しました。



▲富士市・富士宮市消防指令センター

## 先進地視察

10/29～30 鹿沼市：宅配ボックス購入費補助制度について  
松島町：インバウンドの取組について

鹿沼市では、宅配ボックス購入費補助制度を視察しました。この制度は国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、宅配業者による再配達を減らし、宅配業者の負担軽減、環境負荷軽減、受取人の防犯対策の向上を目的とした事業であります。利用される方としては、高齢者等よりも共稼ぎ世帯や単身者世帯が多くありました。

松島町では、コロナ禍により低迷していた外国人の誘客が急増していることに対応するため、こども英語ガイドの育成やカナダ人などの国際交流員（CIR）のガイドを雇用しています。また、来年度の大阪万博での観光誘客にも力を入れているとのことでした。



▲鹿沼市視察



▲松島町視察



なかの  
**中野**  
(明和)

けんたろう  
**健太郎**



## 市営住宅の空き住戸の活用を！

**問** 市営住宅の空き住戸の状況は。

**部長** 単身者用のない住宅の空き家率が高い。栗倉住宅が約47%、月の輪住宅が約45%、富士見ヶ丘住宅が約32%。



▲空き住戸が目立つ市営住宅の郵便ポスト

**問** 条例で社会福祉事業等への活用が可能となっているが、実績は。

**部長** 相談がない。福祉部等から具体的な提案があれば貸し付けを検討していく。

**問** 子育て支援や高齢者生活支援等のコミュニティ活動、ワークオフィス機能の導入は。全国の事例もあるが。



ひらした  
**平下**  
(明和)

なおき  
**尚己**



## 富士宮市有財産について

**問** 市内には官有地が多くあるが、売払いにより取得した複雑な形の市有財産（普通財産）が民有地に隣接している地域が多くあり、民有地の財産価値を下げているほか、個人で測量し境界確定するのに、多くの時間と多くの金額がかかり、新たな開発の計画を妨げているが、このような売渡しにより取得した普通財産はどこにどれくらいあるのか。

**部長** 豊町34筆、泉町6筆、元城町4筆、若の宮町1筆、城北町1筆の合計46筆。

**問** このような売渡しにより取得した理由はいかがか。

**部長** 昭和38年9月に作成された富士宮総合都市計画策定報告書によると、昭和8年10月に旧大宮町の区域が都市計画法の適用を受け、

**部長** 門戸を閉ざしているわけではない。目的外使用については、状況が許せば検討はできる。

**意見** 自治会、持続可能なコミュニティを育てていく考えに立ち、一歩前に進めた形での公営住宅の在り方を考えてほしい。

## 登下校時に地震発生！児童生徒をどう守る!?

**問** 学校生活中に地震発生時の訓練はあるが、親や学校から手の離れた登下校中は盲点になる。地域の事情に合わせた対策は。

**教育長** 通学路、学校の立地によって危機管理を学校は意識して取り組まねばならない。

**問** 各家庭に配布されている危機対応マニュアルで足りるのか。こどもたちが防災意識を自覚する取組が必要では。

**教育長** そうした視点を持って教頭会等で確認するよう伝えていきたい。



都市計画の基本となる街路網の計画が策定され、昭和11年12月に50路線の街路が決定されたとの記載があったことから、街路網の整備計画と官有地の取得について何かしらの因果関係があるかもしれないが、本市が所有する資料等では明確な理由は不明。

**問** 市有財産を明確にするため、市の費用で測量着手やこれらの地域を国土調査法等により地籍調査ができないか。

**部長** 普通財産売払い申請は、売払いを希望する者の負担が原則。現在、国土調査事業は令和2年度から令和11年度の第7次国土調査10か年計画実施中であり調査地区が決定しているので、これらの地区の地籍調査の実施はできない。

**要望** 中心市街地の拠点である富士山本宮浅間大社周辺を、まちづくりの整備として進めていることから、国土調査による地籍調査を優先的に進めていただきたい。





うえまつ 植松 けんいち 健一 (至誠)



クマ対策について

問 クマ被害を出さないための対策はどうしているか。

部長 目撃情報があった場合、庁内関係部局、地元区、農林事務所、警察署等の関係機関に速やかに情報提供をするとともに、同報無線放送での注意喚起を行っている。目撃場所の近くに観光施設や農業施設などがある場合は、個別に情報提供をしている。

問 クマが出没しにくいような環境を整備する、人里近くまで来ないようにすることが必要と考えるが。

部長 まずはクマを人間の方に寄せないための方策として、収穫していない果実をしっかりと処分する。また、生ごみのしっかりとした管理やヤブを刈るなど地域の住民に対応をお願い

し、さらにクマの出没が大きな問題になってくるようであればまた改めて対策を考えたい。

耕作放棄地について

問 令和5年4月からの農地法改正について。

部長 令和5年の実績として、90件の権利取得の内30アール未満の小規模の農地取得は33件あり、小規模農地を取得しやすくなったことで、農業に対するハードルが下がっているという認識はある。小規模農地の取得は今後も増えるのではないかと認識している。

市長 先日、新規就農で様々な農地を借りて10ヘクタールもネギを栽培しているところを見学させてもらった。そのように新規就農の補助金をもらいながら、はじめてしっかりとやっているという例もあり、市としてはそういう方をしっかりと応援していきたいと思っている。耕作放棄地と担い手は重大な取り合わせであり何としても耕作放棄地をなくす、そして担い手を育てていくということは市の大きな使命だと考えこれからも一生懸命やっていきたい。



あしざわ 芦澤 ひでのり 秀典 (明和)



新教育長の教育に対する姿勢について

問 富士宮市の学校教育の現状について。

教育長 一学期末の学校評価において「みんなで学び合う授業は楽しく、学び合うことで授業の内容が良く分かる」と回答した児童生徒は9割を超えている。また、「学校は経営ビジョンを明確に示し、子どもたちのために一生懸命取り組んでいる」と、9割を超える保護者が回答している。

問 富士宮市の学校教育の今後の取組について。

教育長 富士宮市が抱える教育課題も実に多様化・複雑化している。教育委員会各課の一層の連携はもちろんだが、市長部局との連携・協働は不可欠である。これからの課題への対応に当たっては、これらを推進していくとともに、学

校・家庭・地域との連携により、総がかりで子どもをよりよく育てていく環境、子ども自らが育っていく環境をつくり、富士宮市すべての子どもたち、すべての学校の幸福追求、ウェルビーイングの向上に力を注いでいきたいと考えている。

空き店舗等利活用への補助金について

問 この事業の目的について。

部長 市街化調整区域は、都市の無秩序な拡大を防ぎ、自然環境や農地を保全するために設けられた区域であり、その中での商業活動は制約が多いのが現状である。しかしながら、そうした店舗の減少は、地域の魅力を低下させ、交通の課題と合わせて、地域コミュニティの希薄化など、住民の生活にも影響を及ぼすことから適切な対策が必要であると考えている。そこで、このような地域課題を解決していくため、地域の商業機能を維持するとともに、市街化調整区域内のコミュニティの維持及び活性化を図ることを目的に、令和6年度からスタートさせた。



こんどう ちづる  
**近藤 千鶴**  
(超党派虹の会)



## (仮称) 富士宮市立郷土史博物館基本構想について

**問** その後の進捗状況はいかがか。

**部長** 新たな候補地として中心市街地も視野にいれ、費用も抑える。令和7年度の基本計画策定に向け協議し、令和11年に開館を予定。

**問** 令和4年に13回の地域説明会を開催したが、中心市街地となると面積・規模・場所が変更するのに地域説明会をやらないのはなぜか。

**部長** 前回の説明会はあくまでも想定段階のもの。基本計画の中で市民に説明を考えている。

**問** 市長は公の席で建設地を、駅前交流センターきらら駐車場と言及。市民に知らせるべき。

**市長** 市長の姿勢として私が話す事は何ら問題ない。どんどん進めないと乗り遅れてしまう。

**問** 博物館が市長選の争点であったが市民への

説明会や意見を取りいれていないと感じる。市長がこの計画に自信を持っているのなら、正々堂々市民に対して説明会や公聴会を開いて市民の声と向き合うべきと思うがいかがか。

**市長** 正々堂々、令和7年度に基本計画の予算を載せる。私の周りの市民も大勢いて激励してくれ、この事業を進めている。

**問** 市長は最初、埋蔵文化財センターの浸水地域の収蔵庫を移転しなければから始まり、白糸自然公園であったり、あっちこっちで市長の一貫した思いが伝わってこないが、いかがか。

**市長** 最初は白糸自然公園がいいと思ったが状況が変化し、議員の皆さんが時期尚早、やれなんだと言っている間に時間が過ぎた。

**意見** 市長は堂々と市民の声と向き合うべき。

## 新型コロナウイルス感染症について

**問** レプリコンワクチンが心配されているが、富士宮市としてはどのような対応をするのか。

**部長** 市内医療機関にワクチンの種類を確認した結果、レプリコンを使用するところはない。

**市長** 今まで何とかやりくりしてきたが、それでは間に合わないような状況に差し迫ってきているので、もう一度全体を見直し、検討して、総合的に色々な大会の備品などをしまえるような倉庫を、どこかで適地を探してそれで造ってみたいなど、こんな風に思っている。

**問** 外神スポーツ広場グラウンドでは、ベンチ裏に植木やサッカーゴールがあり、選手や見学に来た保護者や家族が通ることができない、またサッカーゴールがグラウンドにはみ出ているため安全なプレーも確保できないと思うが。

**市長** 立てても倒れないようにパイプを固定するなど、研究をして今の場所で何とか保管できるよう工夫してみたいと思う。

## 富士登山における今後について

**問** 入山料について。

**部長** 山梨県・静岡県・関係する団体の方で基本的には同額となるように調整していると思う。今現状では2000円が適当ではないかというところで伺っている。



さの かずや  
**佐野 和也**  
(明和)



## 富士宮市内におけるスポーツ施設について

**問** 富士山スタジアムでの大会開会式における国旗等の掲揚だが、梯子を上り地上7メートルでの狭い足場での作業は危険だと思うが、今後改修等の予定はあるのか。

**部長** 大規模改修については県側が対応している。今後バックスクリーンの改修の際に検討していく。

**問** 富士山スタジアム施設正面入り口内にある元公衆電話スペースが、倉庫として使われているが、見た目が悪いのではないか。

**市長** 正面玄関なので、目隠しなどの小細工ではなく、別のところへ置くような算段を県にお願いしてみたいと思う。

**問** 富士宮市として倉庫を借りて一括して色々な物を収めることはできないものか。



さの かずひこ  
**佐野 和彦**  
(富岳会)



**公共工事と人材不足と財源と**

**問** 市の公共工事全般について、現在の状況と傾向はどのようなものなのか。また、予算があっても翌年度への繰越しになる現状をどのように感じ、対応策は考えているか。

**部長** 令和6年度の入札案件は、9月末時点で101件あり、そのうち7件が不調で不調率は6.9%、全国平均不調率7.4%と比べても低い数値。当市においても、物価高騰や人材不足の予定価格超過や、参加者不在による不調等が発生しているが概ね計画通り実施している。入札不調の対策として、年度開始前の年間工事発注計画の公表、不調発生時の事業者への聞き取りなどを行っている。また、直近の見積書で積算を行い適正な予定価格を定めたり、人材不足を考慮し、技術者の資格要件の緩和を検討するな

ど、速やかに契約を締結できるよう努めている。

**問** 国でも建設業に対するDX推進をしているが、当市ではどのように考えているか。

**部長** 発注する市でも、建設業の皆様にもDXを推進していただきたいと考えている。

**副市長** 市では、契約関係や事業者との書類のやり取りなどDXを検討している。事業者が、市役所に何回も足を運ぶ時間を減らすことを含め、DXは県のほうが進んでいるため、最新の情報を聞き、市でも事務仕事の改善のためにDXを進めている。

**廃止が決まっている市営住宅の今後を考える**

**問** 大岩住宅の取り壊しの時期と、土地の活用。

**部長** 関係各課と協議中で、市で土地の利用がないときは売却も検討する。

**問** 栗倉住宅K棟とL棟の今後の展開は。

**部長** 入居者の転居が済み次第、解体し市営住宅専用駐車場として活用を検討する。



いわむら えみ  
**岩村 恵美**  
(無会派)



**ワクチン接種の効果と検証**

**問** 新型コロナウイルスワクチンの有効性はあったか。

**病院長** 基本的には有効性はあったと考えているが、若くて元気な方が新型コロナウイルスに感染しても、命まで危なくなることはないので、アレルギー体質や過去にワクチンで異常な副反応をした場合は、絶対打たないほうがいいですよ、という勧め方をしている。

**問** この救済制度を申請してから認定までの期間は。

**部長** 実は新型コロナウイルス感染症以降、報道等によると30倍程度増え、現状では1年から1年半の期間を要している。

**問** PCR検査も疑問に思っていて、発症もしていないのにPCR検査をすると陽性になる。

陽性の人数を数える必要性があったか。

**病院長** PCR検査については、これはやはりあまりあてにならない。

**問** 2024年4月から、幼児の5種混合ワクチンがスタートしたが、幼児のワクチンがどんどん増え16種53回と打つ必要があるとお考えか。

**病院長** それぞれの医師の意見によりかなり違うが、私は個人的には議員に賛成で、RSウイルスワクチンがあるが、普通にかかるのが当たり前の病気なのに、そこまでやる必要があるのかなと疑問には感じている。

**意見** ワクチンや薬は100%安全なものではないということや、薬害は後から分かるということ、テレビやマスコミ、新聞報道がメリット、デメリット、リスクとベネフィットを正確に報道していないことも今回浮き彫りになった。

	コロナワクチン以外の ワクチン全種類 (1977~2021)	インフルエンザ ワクチン (1977~2021)	コロナワクチン (2021~2024)
被害認定総数	3,52	191	8,226
死亡認定	151	25	867
後遺障害認定	473	27	132



あかいけ  
**赤池**  
(明和)

ひろもと  
**弘源**



合理的配慮の提供について

**問** 合理的配慮の提供を進めるための市の施策を伺う。

**部長** 本市の事例で述べると、前回の県知事選挙から導入した視覚障がい者のための投票用紙補助具がある。障がいのある方からの申し出への対応が難しい場合であっても、障がいのある方と事業者などが互いに情報や意見を伝え合い、対話を重ねることで、ともに解決策を検討していくこと、いわゆる建設的対話が必要であるとされている。



**市長** もっと市民に手広く伝えるように努めていきたいと思っている。

地域の外国人との多文化共生社会づくりについて

**問** 日本語を教えるだけでなく、そこから住んでいる地域と結びつけるようなコーディネーターの必要を感じるがいかがか。



**部長** 外国人の方には「初めての日本語教室」、これはごみの出し方や防災のことを話している。また、その方々が住んでいる地域の方には、「やさしい日本語」ということで、簡単な日本語を使ってコミュニケーションを取って、地域になじんでもらう取組を行っている。このような取組を浸透させることによって、外国人の地域になじむマナーやルールを浸透させていけると考えている。



わたなべ  
**渡辺**  
(超党派虹の会)

よしまさ  
**佳正**



上井出地先の工場団地開発が白糸の滝の水量や周辺住民に及ぼす影響について

**問** 開発による森林伐採や地下水汲み上げが白糸の滝水量にどう影響すると考えるか。

**部長** 白糸の滝の湧水量は日量 16 万トンあまりで、県・市の条例に基づく地下水取水量であれば白糸の滝への大きな影響はないと考える。

**問** 地下水、周辺交通、富士山景観への影響などがあるので、住民説明会は事業者任せではなく、市と事業者が共同で開いていくべきと考えるが。

**副市長** 市の政策に基づく公共的事業であるので、地元説明会には市の担当部局も参加する。

**意見** 工場団地でかなりの水を使うと思う。周辺交通の問題を含め、専門家の判断も仰いで慎重に進めていただきたい。

さらなる値上げが心配される国民健康保険税（国保税）について

**問** 県西部など医療機関が充実している地域と、医師不足が深刻な富士医療圏域など、医療水準に関係なく保険税率が統一されると、富士宮の国保税はどうなるのか。

**部長** 医療費水準に関係なく統一されるので、富士宮市のように医療費水準の低い地域の国保税は上がっていく。

**問** それで市民が納得するのか。市の意見を県の会議でしっかり言っているのか。

**部長** 県では今度何回も会議を重ねて、市町の意見も聞いた上で進めていく。

**市長** 県の国民健康保険運営協議会の会長という立場で、これは大変重大な問題と捉えている。国の負担を増やして市民が苦しくならないように各市町の首長と力を合わせて頑張っていく。





すずき  
**鈴木**  
(至誠)

ひろむ  
**弘**



## 高齢者の幸福度（ウェルビーイング）を高めるために

**問** 各年代における要介護度2以上の認定を受けている人の割合を伺う。

**部長** 令和6年6月30日現在、65歳以上70歳未満では108人で1.3%、70歳以上75歳未満では226人で2.3%、75歳以上80歳未満では352人で4.2%、80歳以上85歳未満では650人で9.9%、85歳以上では1,908人で29.4%。

**問** 85歳以上でも約7割の方は健康長寿といえる。65歳以上の健康な人に対して何か積極的な取組はあるのか伺う。

**部長** 元気な人たちに少しでも長く元気な状態でいていただきたいというのが私どもの目指すところ。スロトレ、脳トレとか、寄り合い処、

出会いなどの集まりの場を提供するということに主眼をおいて取り組んでいる。

**問** 静岡市ではちゃちゃちゃ活動と称して、65歳以上の人を対象に介護人口を増やしたくないという目的でウォーキングなど様々な取組を行っている。富士宮市では、65歳以上の高齢者のウェルビーイングを高めるためという目的で施策を組み立てれば、富士宮市の大きな特徴になるのではないかと。

**部長** 静岡市の事業の特徴は、集まりの場に出てこれない人たちをターゲットとして明確に打ち出した点にある。富士宮市においてもその点を強化していかなければならないと考える。

**問** 北欧では、福祉は住宅に始まり住宅に終わると言われ、コレクティブハウスという形態が世界に増えているという。専用の住居と共有スペースがあって、生活の一部を共同化している住まい。参考にしないか伺う。

**部長** 市営住宅でも似たような住まい方ができると思う。目指していくべきと考える。



さの としお  
**佐野 寿夫**  
(公明会)



## 最近の葬儀の傾向と市の霊柩車を更新することについて

**問** 富士宮聖苑の利用状況は。

**部長** 令和5年度の実績で、聖苑の稼働日数は302日、火葬件数は1,707件、利用者数は3万5,255人、火葬件数については団塊の世代の高齢化により、今後さらなる増加が見込まれる。

**問** 市の霊柩車の現状と利用状況について。

**部長** 平成7年及び平成9年に購入した霊柩車を2台所有している。火葬件数に対しての過去5年の平均利用率は24.4%である。

**問** 霊柩車を更新することについて。

**部長** 利用者などから年式が古く時代にそぐわないなどの御意見もいただいている。今後の火葬件数の増加も見込まれることから、新規購入、業務委託、リース等の検討をする。

## 敬老会のお祝金の支給状況について

**問** 敬老会のお祝金の予算額、支給の流れと対象者の現状は。

**部長** 市は自治会に対して令和6年度交付金予算額7,137万4,000円を支出することで開催を支援している。市に住民登録があり年度内に77歳以上となる方のうち各自治会が対象者とした方、1万8,784人のうち、御自身または御家族の事情等、あるいは自治会に未加入などにより464の方が対象外となっている。

**問** 公平に全ての対象者に支給できる方法は。

**部長** 市では令和6年度から敬老会実施交付金事業の見直しに着手している。案としては、77歳及び88歳の節目の年齢の方に、市が直接対象者個人へお祝金を支給する方法への変更と、各地域が実施する敬老会を含む高齢者関連事業への支援策の新設をたたき台として、自治会の皆様と検討を始めたところである。時代の変化に合わせた敬老会の在り方について検討していきたい。



むら せ  
**村瀬** ひとし  
**旬**  
(至誠)



## ユネスコスクールである富士宮市立富士宮第二中学校の他国学校との交流の現状と今後の目標について

**問** 現在、富士宮第二中学校はユネスコスクールとしてどのように機能しているか。

**教育長** ユネスコスクール認定を受けた当時は、韓国のヨンセン中学校やジュンゴン女子中学校、和歌山県田辺市立本宮中学校と積極的に進めていたが、その後コロナ禍を経て交流は途絶えてしまっている。コロナ禍が落ち着いてきている現在、また交流を行いたいとの思いが全校体制で高まっている状態である。

**問** 生徒たちの反応はいかがか。

**教育長** 生徒たちはユネスコ委員会を中心に自分たちでできることを進めて行きたいと考えている。生徒会本部役員を中心に調べたり、各委

員会の委員長が集まる中央委員会で話し合いをしたり大変意欲的に活動を進めている。

**問** 現在は何か国との交流をおこなっているのか。

**教育長** 現在は新型コロナの影響で交流は途絶えているが、ユネスコスクールとして同じ志を持つ世界中の学校と知見を共有し、パートナーシップを育む活動を推進していくよう、教育委員会からもお願いしていきたいと思う。



▲ユネスコスクールである二中の活動の様子



うす い ゆ き こ  
**臼井** 由紀子  
(富岳会)



## マンダンドゥプール自治体との都市交流について

**問** 数々のスケジュール変更は事前に職員派遣をするなどで解消したと考えるがいかがか。

**市長** 当事者である市の立場を出し抜いて私自身一度も会っていない自治体の首長に個人的に面会したことは非常識な行動で見識を疑う。

**問** 市民の誰も行った事のない所と提携を結ぶという事で、行って見ないと真実は分からないと思ひ、自分のお金でこの目で見たいと思ひ行ってきたが、それはいけない行為なのか伺う。

**市長** 当局はネパール大使を信頼してやっているのだから当局にお任せいただくのが筋。私たちがまだ相手側と会ってもいないのに、先に行くというのは完全に「抜け駆け」なので、昔は一番悪いことで戦国時代なら死罪に値すること。

我先に功名心に焦って物事を進めることは最も卑怯であり執行部に対して泥を擦った様なもの。失礼千万だ。こちらの立つ瀬がなくなってしまう。反省してもらいたい。何かやる毎に議員が先に行ってあれやこれやしたら物事筋が違ってやっぱり当局を信頼してほしい。

**問** 当局と議会は両輪だというが。

**市長** 信頼して見守っていただくことが大事。議会が先回りするのはぜひ反省してもらいたい。

**問** 今後の交流の在り方について。

**部長** 産業観光の具体的な交流の可能性については関係機関との意見交換を通じ調査する。

**部長** 各々世界遺産という偉大な山の麓にあり、住む人々はそれぞれの山への想いを持ち、そこから生まれた歴史や芸術信仰などの文化があり、文化を知ること各々の山への思いがわかり、互いの地域への理解が深まると考える。

**意見** 都市交流を通して若者が世界で活躍するその姿にワクワクする。が、この事業に関しては、やり方方法等その過程に納得できない。



なかがめ  
**仲亀**  
(無会派)



**富士宮市** @FujinomiyaCity · Aug 30  
台風10号の接近により、令和6年8月30日16:00に市立中央図書館と芝川公民館を自主避難所として開設します。

**避難所のリアルな様子とウェルビーイング向上のための避難所づくり**

- 問** 避難者にはどのような支援が必要なのか。
- 部長** プライベートルームやキッズスペース、パーティションを配備し、プライバシーを保護。
- 問** 過ごしやすい避難所に向け配慮したこと。
- 部長** エアコンが効くことを重要視。
- 問** 食料、飲料水は足りていたか。
- 部長** 十分な備蓄をしている。
- 問** 食事の配慮。
- 部長** 乳幼児に対して液体ミルクを用意。アレルギーを持つ方、宗教的に豚肉等が食べられない方に対応できるようアルファ化米を用意。



やまふじ  
**山藤**  
(公明会)



**女性のための健康施策（HPVワクチン接種対象者の取組と子宮頸がん検診について）**

- 問** HPVワクチン接種の周知方法は。
- 部長** ホームページへの掲載、対象者に個人通知、チラシ配布、ポスター掲示を実施。これから効果的な周知という観点で、本人、一部年齢層の方には保護者への周知、アピールも必要。直接響くような方法を至急検討していく。
- 問** 厚生労働省のホームページにがん検診のあり方に関する検討会の参考資料として、HPV検査単独法（HPVウイルス検査）について掲載されている。今後、当市でも取り入れていくことは可能か。
- 部長** HPV単独検査法による子宮頸がん検診の実施については、市内医療機関や検診機関と情報を共有しながら国や県、県内市町村の動向

**問** Wi-Fi、携帯電話の充電手段の確保は。

部長	Wi-Fi	スマホ充電
市立中央図書館	8時～21時	○
芝川公民館	×	○
小学校	○	○
中学校	○	○

※部長答弁より作成

**問** 飼い主とペットが避難所に来た時の対応。

**部長** ペット同行避難は対応可能。  

**ペットとのお別れ  
ペット火葬に対する富士宮市の考え**

- 問** 富士宮市の考えを伺う。「ペットは大切な家族の一員」という認識でよろしいか。
- 部長** そういう認識でいる。
- 問** ペット遺灰を飼い主にお返しいただき、供養してほしい。
- 部長** 「ペット遺灰を受け取りたい」という要望はある。聖苑指定管理者と協議していく。
- 問** サイズ制限を超える大型犬火葬について。
- 部長** 現在対応不可。今後、火葬炉更新の際には、飼い主ニーズに合った対応を検討。



を注視する。

- 問** こどもと一緒に保護者も正しい知識を得ることが必要。小中学校で研修会、出前講座を開催することは可能か。
- 教育長** 学校はワクチン接種を積極的に推奨する立場ではない。ただし、中学校保健の授業「がんの予防」の項目の中でがんの要因について取り扱ったり、性教育やがん教育の一環として外部講師を招き、子宮頸がんに関してや健康診断及びワクチンの大切さについて指導している。
- 問** WHO主催の子宮頸がん撲滅世界一斉イルミネーションと連動し、TealBlueJapanキャンペーンとして11月17日、18日に世界各地でライトアップされている。これに合わせ市内公共施設のライトアップは可能か。
- 部長** 市民へのよい啓発の機会になる。令和6年度から富士山世界遺産センターで実施したいと思う。子宮頸がんにかかる人を一人でも減らすために、子宮頸がんの予防接種とがん検診を受けていただくよう周知啓発をしていく。



いなば こうじ  
**稲葉 晃司**  
(超党派虹の会)



これからの富士宮市の教育環境について問う

**問** 通学区の変更、学校の統廃合、小規模特認校及び小中一貫校、これらの比較と効果をどのように考えているのか。

**教育長** 複式学級の解消や小規模校の改善の具体的な案として、統合も1つの考えであり、通学区の見直し、小中一貫校、小規模特認校制度といった解消案があり、芝川地区の説明会では、それぞれの学校の状況が異なることから持ち帰っていただき、再度学校や地域で協議してもらう話で終わったと思う。小中一貫校はこどもたちの数は増えないが、小中学校が一緒になることにより小学1年生から中学3年生までが同じところで学べるということは、先輩・後輩の数が増えることにより交流ができるメリットと、小中で教員と一緒にこどもを見れることが

あげられる。例えば、養護教諭が小学校1人、中学校1人だったのが、小中一貫になると学校は1つになるので、2人体制でこどもたちの様子を見ることが出来る点はメリットがあると思うが、人数が少ないうえでのデメリットを解消していくというのは、ちょっと目標が変わっているように思う。小規模特認校は、小規模独特でここでしかできないということを掲げて、市内の学区に関係なく指定校変更のような形で、どこからでも学校に行けるというもの。目的は人数を増やすというよりも、こういう特色があるので皆さん来てくださいといったものになっている。

**問** 今後の説明会のスケジューリングはどのようになっているのか。

**教育長** 保護者、地域、こどもの声を聴きながら要望に対して提案していく形になると思う。統合ならば約2～3年、小中一貫校で約4年、小規模特認校、通学区の見直しは約1～2年の時間を最短で要することと思われる。

2月定例会の予定 2月10日(月)～3月19日(水)

日	月	火	水	木	金	土
2/9	10 開 会 施政方針	11	12	13 議案審議	14 総務文教 委員会	15
16	17 環境厚生 委員会	18 産業都市 委員会	19 議会運営 委員会	20	21	22
23	24	25	26	27	28 議会運営 委員会	3/1
2	3 代表質問	4 代表質問	5	6	7	8
9	10 予算審査 特別委員会	11 予算審査 特別委員会	12	13	14 一般質問	15
16	17 一般質問	18 一般質問	19 一般質問 議案審議 閉 会	20	21	22

- ◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。
  - ◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。TEL:0544-22-1191
- インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。



## 夫婦都市 “滋賀県・おうみはちまん近江八幡市” 市議会親善訪問

当市議会は、10月24日、25日に夫婦都市である滋賀県の近江八幡市を親善訪問しました。訪問中は、近江八幡市の安土城天主信長の館、滋賀県立安土城考古学博物館、安土城跡、八幡山、近江商人の町並みなどの視察を行いました。



▲歴史的資源を活用した観光まちづくりを視察

▲安土城考古学博物館と安土城跡を視察

### 議員の寄附行為の禁止について

特に  
年末年始は注意!!

公職選挙法の規定により、議員が不特定多数の市民に年賀状を出すことや、歳暮・年賀などの物を贈る寄附、地域への催し物へ寸志等を出すことは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すように勧誘する、または要求することも法律で禁止されています。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



年賀状



歳暮・年賀



寸志

**【新会派結成】** 超党派虹の会（近藤千鶴議員（会派代表者）、稲葉晃司議員、渡辺佳正議員）  
**【結成の趣旨】** 党派や立場を超えた議員がそれぞれの視点で議論し、建設的な意見が言えればと思ひ結成しました。

虹は多様性を表し、市政の課題に真摯に取り組んでいきます。

なお、超党派虹の会の結成により、以下の委員会で構成に変更が生じました。

**【議会運営委員会】** 超党派虹の会の渡辺佳正議員が交代で委員に加わりました。

**【議会だより編集委員会】** 超党派虹の会の稲葉晃司議員が新たに委員に加わりました。



▲左から渡辺議員、近藤議員、稲葉議員



## 表紙の説明 & 作者高校生紹介

### 表紙写真の説明

富士山を少し上から見たところを描きました。白い雲をあえて赤にしてみました。自分のオリジナルの赤富士です。向こうに見える雲の色彩も工夫しました。

わたなべりょうや

(特別支援学校富士宮分校渡邊凌哉さん作)

### 表紙題字「笑顔のために」作者

「誠実 努力 笑顔」。これは富士宮分校の校訓です。私も皆さんも笑顔になるよう、誠実に努力を積み重ねていきます。

おざわれお

(特別支援学校富士宮分校小澤怜生さん作)

### 議会に一言

私たちはもうすぐ成人になります。医療費について、今まで子ども料金で払っていましたが、成人になるので負担が心配です。大人の医療費を減らしてほしいと思っています。

また、富士山を中心に、いつまでも自然が豊かな富士宮市であってほしいと思っています。



今回号の表紙は、富士特別支援学校富士宮分校に作成していただきました。次号(2/1発行)は富士宮高等専修学校が作成してくれます。乞うご期待ください!!

### 校風紹介(学校紹介)

静岡県立富士特別支援学校富士宮分校の教育目標は、『「富士に向かってはばたくたくましく生きる人」を育てる』です。

校訓は、「誠実 努力 笑顔」。

学部目標は、『「地域の一員として、主体的に社会で生きる人」を育てる』です。

自立と社会参加に向けた教育活動や富士宮北高校との共生・共育が充実した学校です。



▲北嶺祭



▲宮分マーケット



### 議会に一言へのお返事と編集後記

身近な問題を提起してくださり、ありがとうございます。

富士宮市はこの10月から、18歳までのこども医療費の無償化が始まりました。その反面、成人後の医療費負担が気になりますね。

富士宮分校に通う皆さんの中には、自己負担を1割に抑える自立支援医療の対象の方もいらっしゃるかもしれません。迷った際はかかりつけの病院にも相談してみてください。障がいの有無にかかわらず、働きたいと願う人が元気に働くことができ、いつまでも地域に住み続けられ、尊厳を大切にす富士宮市でありたいですね。

中野 健太郎 委員



# 笑顔のために

NO.436 令和6年12月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248  
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp